

## 「メディア教育研究」(第2巻第2号)の刊行に当たって

独立行政法人メディア教育開発センターは、平成16年4月から独立行政法人となりましたことを契機に、本センターの使命である「大学等におけるメディアを高度に利用した教育活動に対する支援」の一環と位置づけて、「メディア教育研究」の刊行を始めました。

この「メディア教育研究」は、学術研究誌として、多様なメディアを高度に利用して行う教育とその研究開発に関する学術研究上の成果を、論文、研究資料、研究展望などとして掲載し刊行しております。

このたび、「メディア教育研究」(第2巻第2号通巻第4号)を刊行いたしました。本号は、「教育ニーズを捉えた特色あるe-Learning」を特集テーマとし、これに関連する先導的な研究開発などを行っている大学から寄せられた6件の優れた取組みを紹介するほか、メディア教育に関する投稿論文、研究資料などを掲載しております。刊行に当たって、ご寄稿いただいた方々をはじめ関係者に厚くお礼申し上げますとともに、様々な分野でこのような課題に関わる読者の方々に参考となれば幸いです。

先ごろ、内閣に設置されている高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT戦略本部)では、「IT新改革戦略」(平成18年1月19日)を決定し、e-LearningをはじめとするITを活用した遠隔教育の推進とともに、高度IT人材育成を促進するという目標を発表しております。

また、国内の大学でも、近年このような分野に関連する研究開発が活発になり、大学等における取組みやその成果に対する関心が高まっており、他大学の事例を参考に多くの大学等で新たな展開や改革が進められております。

このような状況の中で、本センターとしましては、今後もこの「メディア教育研究」の刊行を継続し内容の充実を図るとともに、様々な研究成果の公表の場として利用していただき、教育・研究者が研究成果を共有することによって、我が国のIT戦略の一助となるよう邁進いたします。この「メディア教育研究」が多くの読者に活用され、より一層の広がりをもって迎えられることを願っております。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年2月

独立行政法人メディア教育開発センター  
理事長 清水 康 敬